看護職員地域確保支援事業 **平成30年度 復職支援研修(手厚くしっかり体験コース)における標準研修プログラム【浩生会スズキ病院】**

コース	1日コース	5日コース	7日コース(看護師)	
内容	講義をメインとするプログラム	模型を使用した手技演習をメインとするプログラム	病棟における実習をメインとするプログラム	
対象	いずれ再就業したいと考えている方	再就業に向けて少しずつ準備したいと考えている方	すぐにでも再就業したいと考えている方	
1日目	A M	オリエンテーション・交流会 1時間		
	A M	ナースバンク関係書類の記入・病院見学 1時間・病院見学 1時間		
	P M	講義:最近の医療・看護の動向・医療安全など		
	P M	再就業支援相談		
演習及び病棟での実習				
		内 容	方 法	
2日目	A M	1 採血 2 輸液・静脈注射 3 筋肉・皮下注射 演習 1) 薬剤処方箋・指示の確認 2) 準備 3) 本人確認 4) 刺入部位の確認 5) 刺入: 駆血帯の扱い、刺入角度 6) 針とルートの固定 7) 滴下数合わせ 8) 輸液ポンプの取扱いなど	指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 1) モデル(静脈・採血等) 2) 椅子、注射台(空床があればベッド) 3) 輸液ポンプ・シリンジポンプ 4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 5) AED(演習用)とリトルアン(人形) 6) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで演習 4 所要時間 ひとり20分から40分。一つの項目全体で2時間程度 5 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 質問をうける、実践指導等	2日目から4日目午前までの研修内容及び指導方法等は、5日コースと同じです。
	P M			
3日目	A M	4 AEDの取り扱いと演習 5 体位変換と移乗 1) 体位変換上方移動、水平移動、仰臥位→側臥位 安楽な体位の工夫 2) 車椅子への移乗 仰臥位→端座位→車椅子(車椅子の操作) 3) ストレッチャーへの移動 仰臥位→ストレッチャーなど	3日目	
	P M			
4日目	A M	6 薬の知識 1) 講義: 与薬・危険な薬剤 2) 処方箋や薬剤の確認方法や間違いやすい要因を説明 7 看護観察・DVD視聴 演習「フィジカルアセスメント」	4日目	
	P M			
5日目	A M	病棟実習 1 病棟オリエンテーション 1) 病棟の構造、特徴 2) スタッフ紹介 3) 患者紹介 2 援助の実践 1) 環境整備(リネン交換) 2) バイタルサイン測定 3) 体位変換 4) 移乗・移送 5) 清潔の援助(口腔ケア、清拭など) 6) 食事の援助 7) 排泄の介助	指導体制・方法 原則として、1名の研修生に1名の指導者を配置 1 病棟課長(師長)もしくは研修担当がオリエンテーション実施 2 指導看護師と一緒に援助を行う。 * 援助の際は、必ず患者様に了承を得る。 * 援助は病院所属の看護師の指導のもとで行ない、原則責任は病院が負う。	
	P M			
		交 流 会		
		再 就 業 支 援 相 談		
			6日目	7日目AMまで病棟実習を継続して行う。
			A M	
			P M	
			7日目	交 流 会
				再 就 業 支 援 相 談